

# 教職員指導・説明用資料

## (小学1～4年生)

小学校1～4年向け資料は、ケータイ（スマホ含む）を持っていない児童も多くいるという状況を考慮して、昔話にケータイを織り交ぜた3コマまんがをきっかけに「約束を守る」「相手を思いやる」「守ってくれているものを知る」など道徳や教訓を読み取り、ネットマナーや情報モラル向上について、考えさせてください。

### 【オモテ面】

#### 「つるのオンガエシ」

若者がわなにかかった鶴を助け、その鶴が人間の女性（おつる）に姿を変え若者に恩返しをするという物語。おつるが自らの羽を織り上げるため、「部屋は絶対に開けないでください」と若者に告げる。しかし、若者はその約束を守ることができず、部屋を開けてしまったことでおつるは若者のもとから去ってしまう。 ※ 若者が老夫婦の説もあり「カサじぞう」

約束を守らなかったことで若者は大切なものを失ってしまった。

貧しいが心の清らかなお爺さんが笠を売りに町へ行ったが、全く売れず、家に帰る途中道端にお地蔵さんを見つける。そのお地蔵さんに「売れ残りで申し訳ないが寒そうだから」と笠をかぶせていく。6体目のお地蔵さんには笠が足りなくなり、お爺さんの頬かぶりの手ぬぐいをかぶせる。その夜、お地蔵さんがお爺さんの家にお礼のためお米やお餅など持って行ったという話。

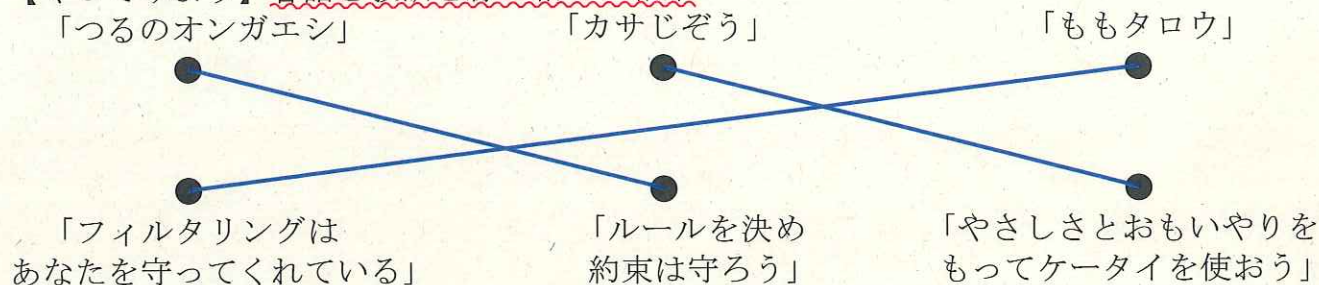
「思いやり」や人が何か（誰か）のために優しくすることの素晴らしさを知らせる。

#### 「ももタロウ」

桃太郎は育ててくれたお爺さんお婆さんら村人を苦しめる鬼を退治するため鬼ヶ島に行く。途中、お婆さんが作ってくれたきび団子を犬、猿、キジに与えたところ、一緒に鬼退治にお伴してくれた。犬、猿、キジの活躍もあって桃太郎は鬼退治に成功するという話。

鬼退治ならぬウイルス撃退のため、3匹は盾を持ち桃太郎を大いに助けた。それはまるで利用者を守るフィルタリング機能のようである。

### 【やってみよう】昔話と教訓を線で結んだ結果



### 【ウラ面】

- ・ケータイを持たせる前にその先に待ち受ける多くの問題について子供たちに教えるよう保護者に伝えてください。
- ・ケータイを持たせる前に子供と一緒に家庭でルールを作っておくことが大切だと保護者会や学年だより等で伝えてください。
- ・困ったときに相談できる連絡先について児童に教えてください。
- ・市町村教育委員会の電話番号、学校の電話番号を記入するよう指導してください。



# 教職員指導・説明用資料

(小学5・6年生)

小学5・6年生用資料は、ケータイでよくあるいじめ・トラブルについて載せています。事例のようなことをすればどうなるかをイメージできるよう伝えてください。

## 【オモテ面】

- ① 何気ない一言やついつい書いてしまった文言が、人を傷つけていませんか。 → メールの内容は読み返し、確認してから送信する。感情的になって書いた文章は送らない冷静さが必要。
- ② すぐに返事を返さないと仲間はずし（いじめられる）にあうのではと、夜遅くまでダラダラとメールのやり取りをしていませんか。 → 睡眠障害やネット依存にならないよう友達間でもルールを決め適度な使用を心掛ける。
- ③ いじめと疑われるような書き込みを目にすることはありますか。 → ネット上のいじめはみんなで見つけることがいじめをなくす手立て。
- ④ 過去の言動や書き込みはいつまでも消えないことを理解していますか。 → 自分のためにも誰かを傷つけるような情報は決して載せない。

下3行、**ネットいじめ・トラブルを「しない」「させない」仲間づくり**をしていこうと呼びかけてください。

【ウラ面】あなたの携帯電話・インターネットの使い方についてYES・NO診断をさせてください。 ※ YES・NO診断それぞれのマスについての解説

左上（「夜遅いから寝るね」「もう遅いから続きは明日」「9時になったからやめる」などいじめをつけ、**友達間でルールを作ることの大切さを知らせてください。**）

左中（いろいろなトラブルに巻き込まれる可能性もあり、**ネット上で知り合った人とは絶対に会わない指導をお願いします。**）

左下（**裸等の画像は絶対に送らない。**脅されるようであれば信用できる大人に相談するよう教えてください。）

中上（勝手に写真を撮られたと不審者扱いされたり、勝手に写真を撮られたことで気分を害する人もいることを知らせてください。）

中中（嘘の情報を載せることもできます。**インターネットにある情報は全て正しいとは限らないことを教えてください。**）

中下（「同じ内容のメールを友達10人に送って」、「こんなひどい奴がいるから多くの人にこの情報を拡散させて」といった内容のメールは、情報の真偽がわからないだけでなく、ネット上で広げることが問題であると気づかせてください。また、**自分が止めることで誰かが傷つかずにすむ**ことを教えてください。）

右上（誰かが書いた悪口で傷つく人や不快に思う人もいます。**見つけた時に保護者や先生に伝えることがいじめ防止につながると教えてください。**）

右中（インターネット上の足跡は消えないことを知らせてください。ふざけた画像、人を傷つけるような書き込みをすることは自分自身を傷つけることにもなります。）

右下（**個人情報大切なもの。**ID、パスワード等、教えてしまったことでトラブルに巻き込まれてしまうことがあるので**絶対教えないよう指導してください。**）

- ・困ったときに相談できる連絡先について児童に教えてください。
- ・所管の市町村教育委員会の電話番号、学校の電話番号を記入するよう指導してください。



# 教職員指導・説明用資料

## (中学・高校生)

中学生・高校生用資料は、ネットいじめ・トラブルの対処法と生徒をとりまく依存について記載しています。未然防止の観点から説明をしてください。

### 【オモテ面】

- ① **慎重な文章づくりの話をしてください。**勘違いされるような表現がないか、送信する前にもう一度読み直してみることでトラブル防止につながることを教えてください。
- ② 「こんなひどい人がいるから多くの人にこの情報を拡散させて」といった拡散希望メールは情報の真偽がわからないだけでなく、ネット上で広げることが問題です。また、「同じ内容のメールを友達10人に送って」といった場合は、チェーンメールを送られた人が迷惑することに気づかせ、**自分が止めることで誰かが嫌な思いをしたり傷ついたりせず**にすむことを教えてください。
- ③ 誰かが書いた悪口で傷つく人や不快に思う人もいます。見つけたとき、保護者や先生に伝えることはいじめ防止の第一歩です。**ネットパトロールは誰にだってできることを気づかせてください。**また、閉ざされたグループ内の話だからと悪口を書き込んだりすることは、それ自体がいじめであることに気づかせてください。
- ④ **ネットで知り合った人とは絶対に会わないよう指導してください。**連絡を取り合っている人が女の子と思っていたら、実はオジサン。写真を見て格好いいと思っていたら、全然別人なんてこともあります。
- ⑤ インターネットは多くの人が見ていることを忘れていませんか。不適切な情報発信を不快に感じる人は少なくありません。**このような情報発信を「しない」「させない」「見逃さない」指導をしてください。**
- ⑥ **文章・写真・動画の情報発信には責任**が伴います。勝手に友達の写真を掲載したり、ふざけた動画や画像をネット上にアップしたりするものでないことを指導、**その行動は自分の将来のためにもならない**ことを教えてください。また、好きな人に頼まれ下着姿や裸の写真を送ってしまい、画像が悪用されたり拡散されたりする例も多いことを知らせ被害に遭わない指導をお願いします。

### 【ウラ面】

- 客観的に自分を見つめるためにもネット依存チェックリストで診断をさせてください。  
「はい」が3項目以上ある場合はネットの使用時間を制限するなど、適度な利用を心掛けるよう指導してください。
- ネットゲームのし過ぎは、「視力の低下」「寝不足」「遅刻増加」「睡眠障害」「集中力の低下」など多くの弊害につながることを教えてください。
- 「インターネット依存」の中高生は全国で推計51万8千人（平成24年度厚生労働省調べ）に上るそうです。「依存症」にならないためにもインターネットの適度な利用を心掛けるよう説明してください。

- ・ 困ったときに相談できる連絡先について生徒に教えておきましょう。
- ・ 市町村立の学校は所管の市町村教育委員会の電話番号を記入させ、県立学校は088-621-3138・3143。また、学校の電話番号も記入するよう指導してください。